

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104225
法人名	株式会社 グロリアコーポレイション
事業所名	グループホーム めぐみの丘坂元
所在地	鹿児島県鹿児島市坂元町878番地1 (電話) 099-248-2355
自己評価作成日	令和5年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年1月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングの窓からは桜島が眺められ、四季折々の花も咲き、鳥のさえずりも聞こえる、緑豊かな環境にあります。認知症があっても、住み慣れた地域の中で、馴染みのある方々と共に生きるように、ご利用者様一人ひとりの強みを生かした支援を行っています。従業員には看護師、介護福祉士の資格を持つ者も多くおり、さまざまな認知症ケアを積極的に取り入れ、利用者様に穏やかな生活を送っていただける介護の実践を目指しています。医師やご家族との連携により、心を込めたケアを整えています。必要に応じて訪問看護と連携し24時間医療サポート体制を取ります。現場にいるスタッフとともに、施設を作りあげることが目標としており、常にお互いが助け合って利用者様にベストなケアを提供できるようにスキルを高めています。栄養バランスの取れた食事作りには力を入れており、食事は毎回楽しみだと入居者様からも喜びの声をいただいております。今後は、運動やレクリエーション活動を通じて、入居者様の体力維持や楽しみの機会を増やしていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は四季を感じられる環境で事業所周辺の草刈は近隣住民の協力が得られている。また、旬野菜やみかん等、おすそわけがあり日常的に地域との交流がある。町内会に加入し運営推進会議への参加や手作り雑巾、季節の飾り物が届いたり、敬老会にはタオルが贈呈される等、町内会や地域住民との交流が活発である。
- ・職員はアットホームな環境の中で明るく、利用者一人ひとりに寄り添い、いきいきと安心して日々を送っている。
- ・協力医療機関からの月2回の訪問診療と看護師の日々の健康チェックで健康管理し、24時間医療連携体制が整っており、適切な医療を受けられるように支援している。
- ・管理者は職員に細やかな配慮し、意見や提案をよく聞いている。また、日々のコミュニケーションや帰り際には声かけする等、働きやすい環境作りに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関とリビングに理念を掲示して、常にスタッフが共有認識を持ってケアを実施できるように努めている	理念はパンフレットに掲載し、玄関とリビングに掲示している。毎月のケア会議で理念の確認と振り返りを行い、次に活かすようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方々からボランティアをいただいたり、季節の花や野菜をいただいています。地域の行事に招待された際は積極的に参加していきたいと考えています	町内会に加入し、回覧板で地域情報を得ているが自粛している。近隣住民のホーム周辺の草刈りの協力や花や旬野菜・みかん等のお裾わけもある。町内会から敬老会のお祝いのタオルや毎年、民生委員からの手作り雑巾の寄贈があり、利用者と職員は感謝しながら日常的に交流している	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	感染症の流行状況、入居者様の状況を見合わせながらの地域交流となっているため、十分とは言えないが、地域の一員として認知症への理解や支援方法を地域の人々に向けて生かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月と一度推進委員会を開催管理者・ケアマネ・入居者様で、この地区の町内会長、民生委員、長寿あんしん課の方々を招待して、ホームの状況を報告と情報交換を行っている	定期的に対面での会議を実施し入居者の入退去状況、ホームの活動状況等を報告し、情報交換を行っている。そこでの意見を活かし、時間の制限はあるが玄関での面会を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には、長寿あんしん課にも案内を渡し、参加をお願いしている 開催内容を報告している	支所の窓口に出向いたり電話でも申請や課題等を相談している。生活保護担当者とは年1回の訪問で利用者との面談と双方の状況報告し情報共有する等、日頃から連携や協力関係を築いている。介護相談員を受け入れ情報を得ている。市主催の研修に対面やズームで参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月定例のケア会議等で研修を実施し、理解を深めている。玄関には施錠せず、安全に配慮し見守り声かけしながら、身体拘束をしない工夫をしている	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催し、毎月ケア会議等で研修を実施し指針の読み合わせや虐待・言葉遣いについて学び、身体拘束をしないケアの実践をしている。日中の玄関施錠はせず見守り支援し、外出希望がある場合、玄関の周辺や庭に出たり、駐車場までの散歩を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を開催し、指針の見直しや読み合わせを行い、虐待が見過ごされることがないように努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護を含め社会福祉を学ぶために資格取得を推進している また、必要な職員に対しては、成年後見制度等の理解と浸透を進めるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関しては、ケアマネジャー中心に実施し、管理者も同席し、十分な説明と納得を得て行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様や家族からの意見や要望は管理者、ケアマネジャーが主に行っているが、日頃よりスタッフも外部への連絡を実施している</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や電話で状況報告し意見を聞く機会を設けている。行事の写真と現状を一筆書きして郵送で報告していたが、今後、ホーム便りを春夏秋冬号で予定し、意見を運営に反映させていく計画である。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度、全体会議を実施し、意見や方針を反映させるように努めてしている また、個別に意見を聞き、反映に努めている</p>	<p>管理者は毎月の全体会議で意見や提案を聞いている。支援中も気軽に相談できるように努めている。年1回の面談で自己評価を聞き、相談にも対応している。意見や提案は、支援内容の見直しや休憩時間は、好きな場所でゆっくり休めるように配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>本社への連絡、意見の反映を報告している また、適正な労働時間や仕事のやりがい等、向上心を持って働けるように、本人の長所を活かした仕事を任せるなど配慮し、条件の整備に取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に内部研修を行っている研修を受ける機会の確保のため、研修の情報等を積極的に案内し、ケア向上の機会を設ける</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>勉強会や交流等に積極的に参加し交流を図っている 定期的にケアマネジャーの訪問等の活動を通じて、さらなる交流の幅を広げるため活動中である</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のこれまでの生活歴などを把握し、言動などを観察しながら、本人の訴えなど傾聴し共感するよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時心配事や困っていることなど、ご家族が本音で話せるような雰囲気を作り、ご家族の気持ちを引き出せるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日頃の生活状況、主治医からの意見など参考にし、目標の達成感を喜び共有できることを支援を導入するように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居していただいた後、不安のないよう本人の希望・趣味・得意な事、共有しながらサポートしたり、喜びを分かち合ったりします		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との面会の時、本人が楽しく生活している様子等を報告し、家族との絆を良好に保つように配慮しています</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人や友人等の面会時、コロナ感染状況を見極め、許せる時間ゆっくり過ごして頂けるよう配慮しています</p>	<p>友人や知人の面会時はキーパーソンに確認し、玄関での面会であるがゆっくり過ごしてもらっている。電話や手紙・年賀状の取次支援、3ヶ月毎に馴染みの訪問理美容で整髪支援している。家族の協力でドライブや受診後に買い物・外食・知人の見舞い等、関係性が途切れない支援に努めている</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士の会話や接し方を見守り、自然な関係ができるよう、お互いに尊重し合える様支援します</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所・死別等で離れてもその後ご家族の不安等、退所先にこれ迄の心身状態をお伝えして、安心して暮らして頂けるよう支援しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	面談や日々のコミュニケーションを行う中で、本人の意向や希望を把握するよう努めている	日々のコミュニケーションの中で、入浴やお茶の時・趣味活動時、音楽を流しリズムをとっている時・朝の健康チェック時に思いや意向を把握している。困難な場合は申し送りノートの活用や家族に状況報告して意見をもらい、意向や希望に添う支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人、ご家族などから生活歴などをお聞きし、入居後は今までの生活環境により近い生活が出来る様努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	夜勤者からの申し送りを毎朝行っている 毎朝バイタルチェックを行いお変わりがないかの確認を行い、ご様子に変化があった場合は看護職員に報告・相談に務めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを行い、毎月のケア会議で入居者様一人ひとりの状態を共有し、ご本人・ご家族の意向に沿った介護計画の作成を行っている	本人・家族の意見や意向を聞きケア会議で入居者の状況を共有し、主治医の意見を参考に、趣味等を反映させ介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月で実施し、見直しもしている。状況変化時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、介護記録に入居者様の様子など記入、個別に詳細をケース記録に記入し申し送りを行っている。その情報を基に介護計画などに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりを重視したサービスを心がけ、既存のサービス以外の対応にも柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍において地域との交流は減っているが、地域のイベントに参加し楽しみを取り戻せるように努めてまいります		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の意向を尊重し、施設とかかりつけ医との連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援しています	入居契約時、かかりつけ医の希望を確認し、納得が得られた協力医療機関が主治医となり月2回の訪問診療と24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。また、家族の協力で入居前からのかかりつけ医とも連携しながら継続支援している。必要時歯科の訪問診療もあり、他科受診時、家族に連絡し付き添い支援後、報告を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>スタッフ間の情報共有と日々の観察に努め、訪問診療時にDr.に報告、適切な治療ができるよう努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療連携により、訪問医との24時間連携、看護師との連携、常に情報交換を行っており、その都度相談を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、状況に応じて本人と家族との話し合いを行い、状況に応じて訪問看護を付けるなど、その人と家族が望む支援ができるように取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期についての指針が有り、入居時に説明し同意書を貰っている。状況に応じて本人と家族との話し合いを行い、重度化した場合、主治医から状況の説明が有り、家族の意思確認し、方針を共有しながら支援し、主治医・訪問看護師・家族と共にチームで看取り支援を行い、看取り実績もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時に備え、講習会を行っている また、定期的に緊急時の手順の確認や実践力向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回避難訓練等を行っており、災害訓練等も取り入れている。備蓄品の確保なども行っている。</p>	<p>年2回防災訓練を昼夜間想定で消防署の指導のもと通報・初期消火・避難誘導訓練を実施している。自主訓練も防災設備点検業者参加で、年2回の点検も実施している。避難場所は駐車場としている。災害時、地域住民もホーム駐車場が避難場所となっており布団も準備している。備蓄は水・米・缶詰・レトルトご飯・菓子・ジュースの食料品とカセットコンロ・懐中電灯を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの人格や性格の違い・認知症の症状の違いを理解し、ご本人が今できることを見つけて誇りをもって生活できるように努めている	ケア会議での研修で個人情報保護・権利擁護等を学び、言葉遣い等の接遇マナーの勉強会も実施している。排泄時の声掛けやドアは閉める等の羞恥心に配慮し、入浴時も希望に応じて同性介助で対応している。入室時はノックし、基本的に苗字で呼んでいる。洋服は自分で選んで貰う環境作りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	観たい番組・着たい衣類・食事の選択・買物の希望を出来る限り傾聴し、それぞれの希望を支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々に合わせた起床時間や食事の嗜好を把握し、栄養を考え、出来る限り対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節ごとに衣類をチェック、サイズ・劣化等考慮し、買物同行し、衣類の買い物をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日に使用する食材の下ごしらえ等声掛けしている 食事も季節を感じられるような食材をつかうように配慮し、入居者様の嚥下状態をみてから刻み食を提供している	献立は利用者の好みを聞いて、季節の食材を使って調理し、嚥下機能に応じて提供している。代替食の提供もある。行事食や誕生日にはちらし寿司と吸い物・ケーキでお祝いしている。職員と一緒にもやしの根切りや後片付けで下膳やテーブル拭きをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の三食摂取の結果を個人別に記録し、水分補給と共にその日の栄養バランス考慮している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後洗面所への声掛け・誘導で見守り・一部介助で実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の確認と各個人への声掛けをして、スムーズに実施している	排泄チェック表でパターンを把握し、利用者への声かけをしている。排泄用品は布パンツとリハビリパンツのみで、希望でパット使用をしている。夜間帯はポータブルトイレ使用者もある。食事と水分補給で排便コントロールができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維をを多く取り入れた献立にしたり、水分を多く摂ってもらうように工夫している 便秘が3日以上続いている方は、入居者様によっては牛乳等を飲んだりして調整している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回実施している 入所者様の体調等を考慮して順番をきめている 出来限り一人ひとりのペースでゆっくり入れるように努めている 入浴拒否のある方は無理じいせずに清拭・足浴等で対応している	週2回、午前中に利用者の状況に応じて順番を決め、浴槽とシャワー浴で支援している。湯温はその都度調整し、同性介助で対応している。保湿クリームの塗布もしている。入浴拒否時、時間をずらしたり、職員交代で支援したり「更衣しましょうか」と声かけ支援している。全身清拭や足浴でも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりに会ったお手伝い等をしたり、日中はレクレーションをしたりして、眠くなったらちょっと昼寝をするよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ポケットに入れる方がいるため、服薬時十分気を配り、名前を確認し確実に服用出来る様に努めている 薬の服薬時は症状の変化を観察し、スタッフ間での情報の共有に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりにあった役割を無理なく設定し支援している 調理作業・洗濯干し・掃除等出来る方にやって頂けるよう努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望により買い物など外出支援を行っている リビングより自然を眺められたり、その時の入居者様の希望にて庭を散歩したり支援している	年間計画を作成し、天気の良い日は庭を散歩したり、外気浴や日光浴を支援し、希望に応じて少人数で買物支援をしている。家族の協力でドライブや受診後に外食・買い物・墓参り支援をしている。ホームの庭で桜の花見やお茶を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は家族より小口現金をお預かりし、買物等でご使用出来る様に支援しています 又家族には金銭の利用状況を書面にてサインしてもらっています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話連絡等は本人の希望にて電話出来る様に支援しています 又手紙のやり取りも本人の希望を聞き支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は朝一番に掃除をして、四季折々の花を飾り、リビングは日当たりもよく、時々換気を行い気持ちよく過ごせるよう配慮している 又体感温度に合わせて冷暖房に気を付けている	玄関に花を飾り、リビングは定期的に換気を行い、採光はカーテンで調整している。温湿度に気をつけながらエアコンで調整し過ごしやすい環境を心がけている。壁画は切り絵や町内会から送られた秋の作品が飾られている。利用者の塗り絵も掲示し、テーブルや椅子・ソファ・テレビを配置し、居心地よく過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでの椅子の配慮など一人ひとりがゆっくり過ごせるよう配慮している TV鑑賞が好きな入居者様にはTVが観られるよう席を配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には思い出の物を置くなどして居心地良い環境を作るように工夫している 本人の好きな番組をテレビ鑑賞したりして快適に過ごせるよう工夫をしている	ベッドは電動と木製があり利用者の状況に応じて使用し、タンク・エアコンは設置している。寝具類は使い慣れたものを持ち込み不足分はリースである。ピアノ・テレビ・時計・仏壇・位牌・遺影・ハンガーラック等があり、プレゼントの造花も飾っている。家族の写真や好きな本もあり、安心して過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室は名札を設置し、トイレもわかりやすく掲示、一人ひとりが混乱しないように工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない